

## 洞爺湖町議会令和元年9月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
<p>10番 石川 邦子</p>	<p>1 子育てをしながら安心して働き続けるための支援策について</p> <p>2 洞爺湖町合葬墓(合同墓)の設置について</p>	<p>(1) 「幼児教育・保育の無償化」により子育て世代の経済的負担軽減が図られますが、同様に「多児育児」や「転入者」、「共働き家庭」に着目した子育て支援サービスの拡充が必要であると考えます。</p> <p>① 子育て支援策の一つであるファミリーサポート事業の計画について伺います。</p> <p>② 事業を実施する場合の地域の子育てサークルやボランティア団体との連携について伺います。</p> <p>(1) 少子高齢化や核家族化などにより、お墓を取り巻く環境は大変厳しい状況であり、承継も含めて、お墓の維持管理が困難な状況にある方が、お墓じまいをしたり、経済的な理由により、お墓の建立やお寺への納骨ができないなど、自分が亡くなったあとの行方、将来に対する不安を抱いている方が、自治体による合葬墓(合同墓)の設置を望んでおります。こうした要望に対する町の考え方を伺います。</p>	<p>①</p>
<p>5番 立野 広志</p>	<p>1 来年度の国保税の賦課方針について</p> <p>2 障がい者施策の充実について</p>	<p>(1) 国と道は、法定外繰入の「解消」を求めています。住民のくらしの安定のため法定外繰入などの施策とともに、子育て支援の立場からも子どもの均等割の減免を求めます。</p> <p>①そもそも国保制度とは</p> <p>②今年度の国保事業費納付金の現況について</p> <p>③国保税の平準化に対する認識は</p> <p>④保険税負担の軽減のための町の施策は何か。</p> <p>(1) 障がい者の利用できるサービス内容について周知徹底するとともに、障がい者への差別と偏見の解消などすすめるため町として必要な手立てを講じること。</p> <p>(2) 障がい者に対する交通費補助について、近隣自治体なみの補助を行うこと。</p>	<p>②</p>

## 洞爺湖町議会令和元年9月会議一般質問

<p>5番 立野 広志</p>	<p>3 景観条例及び 景観計画の策定 手法について</p>	<p>(1) 景観条例及び景観計画策定に向け、庁内での素案検討が行われているようですが、その経緯や内容について説明されたい。</p> <p>(2) 景観計画は、洞爺湖町のまちづくりや経済活動、住民にとって望ましい地域づくりの方向を定める大切な計画となります。町民にとっても行政にとっても今後のまちづくりを見通す計画として位置づけているか。</p> <p>(3) 庁内の体制と町民参加の検討協議の在り方について</p>	<p style="text-align: center;">②</p>
<p>8番 今野 幸子</p>	<p>1 保育行政について</p>	<p>(1) 無償化にともなう保育料と給食費の扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝、延長保育の保育料</li> <li>・3歳未満児の保育料</li> <li>・給食費の負担について</li> </ul> <p>(2) 育休退所の措置の扱いについて</p> <p>(3) 保育所の統廃合を含む対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会開催の目的、周知の方法</li> <li>・説明会で出された疑問や意見に対する認識</li> <li>・希薄な提示文書とメリット、デメリットの表現内容</li> <li>・これまで町立保育所が果たしてきた、「保育水準」や「保育の質」について維持する考えがあるのか。</li> <li>・今後の対応について</li> </ul>	<p style="text-align: center;">③</p>

## 洞爺湖町議会令和元年9月会議一般質問

<p>9番 下道英明</p>	<p>1 教育行政について</p> <p>2 誇れる地域特性を活かしたまちづくりについて</p>	<p>(1) 小中連携教育の乗り入れ授業の実施状況、小中一貫教育制度についての調査研究の進捗状況をお伺いします。</p> <p>(1) 日常を暮らす町民と、非日常を楽しむ観光客が共存共栄できる地域づくりを進めるために、また持続可能な観光客の受け入れ態勢整備の財源をはじめとする施策に要する費用に充てる「宿泊税」や「観光税」等の目的税導入が必要だと考える。 理事者の目的税導入への考えをお伺いします。</p> <p>(2) 虻田地区において住民の生活環境の向上や、ふれあい交流の場として、「第2の松の湯」いわゆる公設型の小規模な公衆浴場の建設の将来についてお伺いします。</p>	<p style="text-align: center;">④</p>
<p>7番 千葉薫</p>	<p>1 虻田中学校改築について及び虻田高校への対応及び今後について</p> <p>2 本町生活館の建て替えについて</p> <p>3 ジオパークについて</p>	<p>(1) 建設より年数を経過し、傷みも目立つが、今後の考え方について</p> <p>(2) 虻田高校への支援には色々町としても行っているが、難しい現状であると思う。町としての今後の方向性を伺いたい。</p> <p>(3) 虻田高校に虻田中学校が入るような事は考えられないか。</p> <p>(1) 今回の建て替えについては、大変早くから話があったと聞いているが、私ども議会には、きちんとした説明がなかったと思っている。経緯、経過についてお聞きしたい。</p> <p>(1) 今回の審査においては大変良い感じを持っていると聞いているが、今後の課題なども含めて内容についてお聞きしたい。</p>	<p style="text-align: center;">⑤</p>

## 洞爺湖町議会令和元年9月会議一般質問

<p>7番 千葉 薫</p>	<p>3 ジオパークについて</p>	<p>(2) 町の景観も素晴らしいものであるし、また歴史が創ったものや文化も観光の目玉の一つとなると思うが、やはり食が弱いと思う。今までも言われていることだが、この地域の産物を飲食店、ホテル等で使ってもらえるよう考えていくべきだと思うが、ジオを知ってもらう為に火山科学館の入場料や中島へ行く遊覧船代などを町民に対して補助するなどしてはどうか。</p>	<p>⑤</p>
<p>2番 大久保 富士子</p>	<p>1 防災対策について</p> <p>2 町民の健康づくりについて</p>	<p>(1) この頃、自然災害が相次ぐ中で地域の災害に備え、防災行動計画（タイムライン）を作成しているか。</p> <p>(2) 災害発生時にいかにして住民が避難をして生き延びる事が大事です。災害復旧、復興対策について伺います。</p> <p>(3) 地域で少子高齢化が進む中、自分で身を守る（自助）互いに助け合う（共助）を高める事が課題です。その為の自主防災組織の現状と具体的な取り組みについて伺います。</p> <p>(4) 東日本大震災の教訓を踏まえ防災対策に女性の視点を生かすように2013年に全ての都道府県防災会議で女性委員が登用されました。町として女性の視点を生かす取り組みについて伺います。</p> <p>(5) 緊急時に対して非常用電源、資機材の確保、整備、災害用備蓄品の近況について伺います。</p> <p>(1) 病気は早期発見が生命線です。その為に健康診断、予防が大事です。町として検診の推進、対策について伺います。</p> <p>(2) ガンは国民の死因1位であり、2人に1人がかかると言われている。国民の病気です。ガン予防とケア対策について伺います。</p>	<p>⑥</p>

## 洞爺湖町議会令和元年9月会議一般質問

<p>4番 大屋 治</p>	<p>1 地域の特性を生かした町の振興策について</p> <p>2 町の防災対策について</p>	<p>(1) 虻田本町地区の賑わいをどのようにして取り戻していくのか。 ①観光振興対策から見たJR洞爺駅周辺におけるウェルカムをどの様に発信していくのか。 ②火山の恵みのひとつである温泉に親しみ、温泉入浴効果による健康増進に役立ててもらうため、町内の各温泉入浴施設での入浴助成を行っているところですが、松の湯及び温泉地区に温泉入浴出来る施設の検討は如何に。</p> <p>(1) 西曙に見られる様に斜面に張り付くように住宅を建て、生活されている方々の減災、防災について聞きたい。 (2) 高齢化社会における一人暮らしの方々や、要支援者の減災、防災対策は如何に。</p>	<p style="text-align: center;">⑦</p>
<p>1番 越前谷 邦夫</p>	<p>1 第2期洞爺湖町まちづくり総合計画の期間中に推進する取組について</p> <p>2 北海道が観光税導入を検討中洞爺湖町の見解は</p>	<p>(1) 将来を見据えた課題解決の推進と少子高齢化社会における地域振興策の展望を伺う。</p> <p>(1) 観光税込として11月から宿泊税を徴収する倶知安町のほか10以上の市町村が導入を検討している。洞爺湖町は入湯税を導入しているだけに導入された場合、二重課税の問題が起きる。その見解を問う。</p>	<p style="text-align: center;">⑧</p>